

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成28年 3月23日（水）

午後 1時30分 開会

午後 2時27分 閉会

場所 : 全員協議会室

[報告案件]

1 第6次半田市総合計画【改訂版】について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 半田市と金融機関との地方創生にかかる包括連携協力に関する協定の締結について

堀寄敬雄企画部長：資料に基づき説明

新美保博議員：金融機関の12すべてを一つとして締結するのか、一つずつの金融機関と締結するのか。一つで契約すると抜けるに抜けられない状態、13があり得ないことになってしまうのでそういったことを教えてください。

堀寄敬雄企画部長：新美議員が言われるような各行と半田市が一对一で提携をさせてもらいます。12金融機関とありますが、実は東海労働金庫と郵便局がこの中には入っておりません。先ほど申し上げたように、商工会議所の金融部会に所属しているところで切っております。この後、労働金庫や郵便局等からもこの包括協定に加わりたいというお話があれば、個別に結んでいる協定ですので増やしていくことも視野に入れております。

久世孝宏議員：裏面の事業展開のところで、1から4の中の2から4で、半田市とどのように関わっていくのか。1は職員と一緒に研究していきましょうというのは分かりますが、2から4は商業ベースに乗っていけば別に半田市が関わらなくても向こうが必要だと思えばやっていくような中で、ここに半田市がどう関わっていくかのイメージが分かれば教えてください。

堀寄敬雄企画部長：まさに仰る通りで、2から4につきましては、全国的にやっているような例を掲げておりまして、半田市と12金融機関で何をやっていくかは、項番1で発足する研究会の結論をもって、展開していきたいという考え方を持っておりますが、例えば全国には項番2ですと地方から東京等に出た若者が戻ってきてくれたとき、奨学金を出すなどの制度がある自治体があったりと、全国の様々な例を項番1の研究会の中で提示をさせていただいて、今後知多半島で取れる具体的な施策を検討していきたいということで、2から4番については現時点では、がっちりしたスキームはない状況であります。

久世孝宏議員：例えば、ローンを組むとローンの利率を半田市が補助して、単独でやると商品にはならないが、半田市の補助があるから商品化してやっていこうといった、半田市が負担していくようなことや、規制緩和や条例を作っていく等、行政としてどういう手助けをしていくのかというイメージが湧かないです。この12の機関で、半田市が入ってくる理由づけみたいなものがわかったらと思うので

すが。

榊原純夫市長：例えば、これが始まる直前にある金融機関の方とお話をしたのですが、奨学金などで卒業後半田市へ就職した場合の利息分を半田市が負担するだとかそういうことも視野に入れて考えたいなと提案させていただいておりますので、ご指摘の点やもっとバリエーションもあるかと思っておりますので、そういったことも半田市の活性化につながる部分として、金融機関と一緒にやっていきたいと思っております。一つの例ですが。

加藤美幸議員：地域色のある金融商品の開発のところで、先ごろ私の地元でお年寄りが孤独死されましたが、お年寄りに対してリバースモーゲージのような商品であるとか、今回高齢者に対する関連のことがないようではありますがいかがでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：今の段階で、こういった事業をやるというかつちりしたフレームはもっていないく、金融機関の皆さんは外交などで市内をたくさん回られており、我々では持っていないような金融機関の方の視点の情報がたくさんあるのではないかと考えております。そういった情報の中から、市長が言ったような例で市が少し後押しできるようなものやリバースモーゲージみたいなものが半田に必要だというご意見があるのでしたら、そこから制度設計を図っていききたいと思っております。これからしっかり枠組みを作っていきたいと思っております。

3 保育所等の利用者負担の軽減措置について

折戸富和健康子ども部長：資料に基づき説明
質疑なし

4 児童発達支援センターつくし学園における肢体不自由児の療育の実施について

折戸富和健康子ども部長：資料に基づき説明

中川健一議員：重症心身障がい児という定義があり、そういう通所施設もあると思うのですが、肢体不自由児と重症心身障がい児の分野はどのように分けているのでしょうか。

折戸富和健康子ども部長：今回の件につきましては、毎日でなくともせめて週に1回でも受け入れできないかということで、先ほどの訪問看護により、看護師を余分につけることによって、その人の療育ができるようになり、可能な限りつくし学園で受け入れたいということで体制を組んでいます。

久世孝宏議員：これで施設は満杯なのかまだ余裕があるのか、市内のニーズに対してこの施設によってどのような状況になったか教えてください。

折戸富和健康子ども部長：市内で実際に通所している対象となる方については、調査当時23名おります。今回は15名ということで、残りの8名につきましては、東海市のあすなろさんに継続して通う方。それと、市内と大府にもおりますので、そちらに通う方などがございます。市外へ転居されたり家庭の事情等で来られない方など現在15名を予定しております。先ほど1日あたり12人の配置で、最大で11名のところが1日あり、あとは10名という形ですので、都合をつけることによって受入れ可能な状態です。

5 第2次半田市スポーツ推進計画【後期分】策定について

折戸富和健康子ども部長：資料に基づき説明

新美保博議員：この計画に総合体育館か何か載ってないのだが、なぜこの時期に乗らないのか。

折戸富和健康子ども部長：この段階で、推進計画の中でオリンピック関係については盛り込む形にしましたが、総合体育館については、今後どのようなものを作っていくか検討に入る段階であるものですから詳しくは載せられませんでした。

新美保博議員：代表質問で、市長が答えている。必要とあらば、検討委員会を作らねばならないと言っている。形がないとしても、検討していくということを書かなければならないのではないのか。それが実施計画ではないのか。総合体育館という言葉がなければ見過ごしてしまう。

榊原純夫市長：例えば、16ページの施策3スポーツ施設の整備活用というところを見ていただきますと、1つ目の星で既存施設の適切な修繕計画や新規施設の整備計画を作成し、スポーツ施設の効率的な利用を図りますと位置付けておりますので、新しい体育館につきましては、新規施設の整備計画というところで位置付けておるということでございます。

新美保博議員：場所・建物・大きさは別にしても、総合体育館を建てて下さいという要望が出てきている。3月議会の代表質問で、これ（総合体育館について）はどうしますか。に対し、委員会を設けて一度検討しますと自ら市長が答えている。そうであるならば、なぜ総合体育館という文言を載せなかったのか。載せてもいいはずだ。

榊原純夫市長：16ページの新規施設の整備計画というところに付けさせていただいているつもりですので、今後はご指摘がありましたように具体化に向けて取り組んでまいりますので、次の計画には更に進めた形で載せて参りたいと思います。

中川健一議員：先ほど、教育委員会に諮ったら何の意見もなかったということだったのですが、その理由は何ですか。中身が素晴らしいから意見が出なかったのかということでしょうか。

折戸富和健康子ども部長：なぜ質問が出なかったのかというのはお答えできかねます。

小坂和正教育部長：スポーツ関連の施策は、もともと教育委員会にあった仕事ですので、教育委員会に諮ることが決められております。そこで、十分な説明をスポーツ課からいただいて、その際、意見等はなかったということです。

中川健一議員：経過期間は平成28年度から32年度までの5年間となっています。目標設定で、総合地域型スポーツクラブの会員数の現状は8,762人ということで、5年後に9,000人にするとたった250人くらいの低いレベルの目標でいいのかと思うのですが、なぜこのような低い目標にしたのでしょうか。

折戸富和健康子ども部長：今回の審議会の委員のメンバーには、各スポーツクラブさんも入っております。現在、スポーツクラブさんが人を集めるのが非常に難しい状態になっております。少なくとも何とか今の人数をキープできないか、総合的に何かをやることによっていろんな方を取り込めないかと考えているのですが、実際には入っていただくのが難しい状況です。現状をキープしながら少しで

も増やしていけるように委員会で検討する中で、決定したものでございます。

中村宗雄議員：総合スポーツクラブの会員数のことですが、平成 26 年度の会員数 8,762 人の現状値と総合計画改訂版に載っている数字が違うのはどういう意味があって 2 つの数字を使われているのでしょうか。総合計画ですと 8,897 人で、基本計画では 8,762 人を現状値としています。これは何を表しているのでしょうか。

堀寄敬雄企画部長：総合計画は、平成 26 年 2 月の数字が 8,897 人。平成 27 年 2 月の数字が 8,762 人となっており、1 年度違い、黄色の資料 6, 7 ページに表がありますが、1 年次捉えている時点が違うので数字が動いています。

6 知多都市計画事業知多半田駅前土地区画整理事業の完了について

榊原康仁建設部長：資料に基づき説明

質疑なし

7 半田市污水適正処理構想について

笠原健次水道部長：資料に基づき説明

質疑なし

8 半田市いじめ防止基本方針について

小坂和正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

9 第 2 次半田市生涯学習推進計画（改定版）について

小坂和正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

10 半田市子ども読書活動推進計画【後期分】について

小坂和正教育部長：資料に基づき説明

質疑なし

[その他]

・平成 27 年度事業変更報告について

滝本均総務部長：資料に基づき説明

折戸富和健康子ども部長：資料に基づき説明

榊原康仁建設部長：資料に基づき説明

笠原健次水道部長：資料に基づき説明

新美保博議員：事業変更報告書というものを初めてののような気がします。年度末で締めなければならないということでやっているのですが、今までもやってきたことなのか、なぜこういうことをやりだしたのかと。決して悪いことではなく。

渡辺昭司議長：以前、総務委員会の決算委員会で市民生活に携わる計画で事業計画が変わったような状況などがあつたら報告をいただきたいということが、石川英之議員から今年の決算委員会で話があり、お願いさせていただいた中で、事業変

更があった内容についてご説明があったと思いますが何かありましたらお願いします。

榊原純夫市長：おっしゃる通りで、総務委員会の決算審査の時に指摘を受けまして、市民生活に大きく関わるものについては、議員の皆さまも知っておいていただかなければならないので、資料を今年度作り、今回初めて出させていただきました。今後も同様なものがあれば、同様の形でご報告させていただきます。

滝本均総務部長：昨年9月の決算委員会の際に総務委員会の中でそのような話があり、それ以後全庁的に総務部から各部長へ依頼をしまして、各年度の当初予算・補正予算で予算説明をした時の事業内容と執行内容が異なる場合、ただし全部とは言いません。扶助費等もありますので、市民生活に関わるもので、特に議員の皆さまが市民の皆さまに説明するような直接関わるような内容に関して、変更のあったものについて報告をさせていただいていて、昨年の秋以降、既に建設産業で1件あったのではないかと思います。取扱いとしましては、必ずしもこのように全員協議会で報告とルールが決まっているものではないかなと思います。報告書を議長宛に出させていただいて、議会で各議員さんに周知していただく形もあると思います。今回は4件まとまっていたのでご報告させていただきました。

- ・地域ふれあい施設「有脇ふれあいセンター」について

藤田千晴福祉部長：資料に基づき説明

質疑なし